

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成28年11月29日 午後1時30分
- 2 閉 会 平成28年11月29日 午後3時8分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員
出席委員
委員長 林 直 人
委員長職務代理者 米 谷 正 造
委 員 小鍛治 一 圭
委 員 下 山 洋 子
委 員 三 宅 眞砂子
委 員 山 中 榮 輔
- 5 会議に出席した者
教育次長 服 部 浩 二
参事兼庶務課長 葛 原 隆 二
学校教育課長 北 川 和 美
こども夢づくり課長 西 村 佳 子
生涯学習課長 柚 木 均
文化課長 河 原 隆
学校教育課主幹 貴 志 知 子
庶務課課長補佐 岩 佐 知 美
- 6 会議録署名委員
米 谷 正 造 小鍛治 一 圭
- 7 付議事件
議案第24号 平成28年度総社市一般会計補正予算（第8号）について 原案可決
議案第25号 総社市幼稚園保育料条例の一部改正について 原案可決
議案第26号 総社市立認定こども園条例の一部改正について 原案可決
議案第27号 総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について 原案可決
議案第28号 総社市保育の必要性の認定基準に関する条例施行規則の一部
改正について 原案可決
議案第29号 総社市文化芸術会議条例の制定について 原案可決
議案第30号 総社市体育施設指定管理者の指定について 原案可決
- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午後1時30分

林委員長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には、議案7件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第19条の規定により、出席委員中、米谷委員、小鍛冶委員の2名にお願いします。

林委員長 では、議案第24号「平成28年度総社市一般会計補正予算（第8号）について」事務局から説明願います。

各課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第24号について質問はありませんか。

【質疑・答弁】

下山委員 すみません、予算とはちょっと外れますが、エアコンを29年6月までに75教室設置ということについて、どこの学校ですか？大規模校から入るんでしたかね？ちょっと忘れたんですが。これは6月までに設置ということは、平常日に設置工事を行うのかなというのを一つお尋ねします。それから、山手小学校の放課後児童クラブの待機児童がいるということで、山手の保健センターに場所を全部移すんですか？

西村学校教育課主幹 一部です。

下山委員 一部増やす。移すために、ロッカー、テレビ、そういう物があるという意味ですね？今は山手小のどこにあるんですか？

西村学校教育課主幹 今は、学校の敷地内の専用教室という所にございまして、50人定員なんですけど、今回の保健センターの方はプラス20人くらいです。

下山委員 ではそのうち何年生かがそちらへ行くということで予算が出ているんですね。

西村学校教育課主幹 はい。

葛原庶務課長 エアコンについてのご質問ですが、28年度で小規模校からやって参りましたので、今回やるのが、東小、清音小、山手小、中央小、常盤小の5校でございます。今年度、4月になって入札をして、着手して、エアコンを設置できたのが7月の中旬ぐらいでしたので、これを6月の初めくらいに終了できるようにということで、債務負担を組ませていただきまして、28年度、来年の2月ぐらいまでには、入札して契約を結んで、29年の6月には完了する予定になっております。

米谷委員 常盤小のトイレの改修は増築ですか？それとも洋式化とか、その内容をちょっと教えていただければ。

葛原庶務課長 内容といたしましては、これは耐震診断の時に、壁がブロックであったということで、これを補強するものです。併せて洋式化として、大便所9、小を8。それと多目的のトイレを1つということで予定をしております。

林委員長 他にどうですか？

では私の方から。文化課の文化センター管理経費で、舞台業務委託ということで、何か催

し物をする時には外部の方をお願いしてやっているんですか？

河原文化課長 はい。音響，照明，それから緞帳の上げ下げとか，いろんなものが舞台上下したりしますが，その舞台の関係。この3つを外部に委託しております。基本的に本番の日と，その本番を想定して前の日に仕込みとかをします。それを全部外注しております。

林委員長 年間何日ぐらいなんですか？

河原文化課長 これから使われる想定分も含めまして，今年の予定で96日。昨年度は89日。丸々全部3人さん来ていただかなくても，例えば，簡単なケースでは，税務署が年末調整の説明会をされる場合ですと，音響さんと照明さんだけで十分できますので，お2人だけ来ていただくということもございます。普通は基本的に音響，照明，舞台と，3人1組で1回が81,000円，その分掛ける日数ということになります。

林委員長 結構難しいんでしょうね，その操作は。

河原文化課長 はい。専門的なものですから。

林委員長 お諮りいたします。

議案第24号について可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので，議案第24号については可決しました。

林委員長 次に議案第25号「総社市幼稚園保育料条例の一部改正について」，第26号「総社市立認定こども園条例の一部改正について」，続けて事務局から説明願います。

葛原庶務課長，西村子ども夢づくり課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第25号，第26号について質問はありませんか。

【質疑なし】

林委員長 お諮りいたします。

議案第25号，第26号については，原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので，議案第25号，第26号については原案のとおり可決しました。

林委員長 次に議案第27号「総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について」事務局から説明願います。

西村学校教育課主幹 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第27号について質問はありませんか。

【質疑・答弁】

米谷委員 それぞれ2つに分かれるんですが，指導員の方はもちろん増えるわけですよね？それで，どういう風に分かれるんですか？

西村学校教育課主幹 それぞれの小学校区の運営協議会で指定管理をしております。それで，

その運営委員会の方が、どういう風に分けるのかというのをそれぞれ決めていただきます。

米谷委員 運営協議会毎で決めていただく。

西村学校教育課主幹 募集の方も運営協議会毎に決めていただいておりますので、そこで、どういう風に分けるのかというのを決めていただくようになります。

米谷委員 学校によっては学年で分けられたり、学校によっては地区で分けられたりということが可能性としてあるということですね？

西村学校教育課主幹 はい。

林委員長 他にどうでしょうか？

私の方からなんですけど、この追加された施設というのは、また広がる、広げる可能性というのはあるんですか？人数が増えた場合に対応できるんですかね？

西村学校教育課主幹 人数が増えてまた足らなくなった場合というのは、また考えていけないといけないとは思いますが、基本的には学校の敷地内ということと、近隣の場所という形で考えておまして、まず3年生以下のお子さんの待機児童を減らそうということでやっております。放課後児童クラブは6年生まで受け入れるというのが本当の形だと思いますが、うちの場合は、まず3年生までの低学年の待機児童をゼロにしないといけないというところで、やっております。地区によっては、3年生までが少ない所は6年生まで入っていたりします。今後どうなるかというのは、ご家庭が共働きになって、預ける人が増えていくとまた変わってくるでしょうし、また社会事情によっても変わってくると思いますので、その時にもう一度考え直したり、その時その時で対応していかないといけないところはあると思います。

林委員長 ちなみに、その山手保健センターは、キャパ的に増やせるんですか？

西村学校教育課主幹 山手保健センター自体は、空き部屋が1室しかございませんので、基本的にはそこでいっぱいだと思います。倉庫になっている所があって、その部分を少し改修すれば増やせるかもしれませんが、人数的にはあまり増やせるものではないと思っています。

小鍛冶委員 常盤と山手ということですが、他の小学校にも当てはまります。他の小学校でもやっぱり増やしていこうというような考えはあるのでしょうか？総社小学校は建替えますからもちろんですけども。例えば中央小学校とか、学年が上がって要求されている所があると思うんですけども、他に考えがありますでしょうか？

西村学校教育課主幹 総社小学校は、さっき仰った通り建替えがございまして、その時に新しい物を1つ建てようとしております。中央小学校におきましては、今、広域利用ということで、北小学校の方に雪舟くんを使って行っているお子さんもいらっしゃいます。今のところその方向で考えておりますけれども、どれぐらい来年度の申請が出るか分かりませんので、その状況を見ながら少し考えていかないといけないかなと思っております。

林委員長 お諮りいたします。

議案第27号については、原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので、議案第27号については原案のとおり可決しました。

林委員長 次に議案第28号「総社市保育の必要性の認定基準に関する条例施行規則の一部改正について」事務局から説明願います。

西村こども夢づくり課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第28号について質問はありませんか。

【質疑・答弁】

米谷委員 国が助言した根拠って何ですか？変えることに対して別に異議があるわけじゃないんですけど、何か根拠があって名称変更したと思うんですが。

西村こども夢づくり課長 根拠というのは特に把握していません。

米谷委員 理由はなかったんですか？

西村こども夢づくり課長 理由については、また調べてお答えします。

米谷委員 ちょっと名称がよくないとかそういう。

西村こども夢づくり課長 たぶんそういうことだとは思いますが。

米谷委員 はい、お願いします。

林委員長 単純に考えれば、不承諾ではなく保留。保留といたら、空いたら入れますよということですね？だからその意味合いをちょっと込めて、そういうような文言にしたのかなという気がいたします。

下山委員 保護者はその言葉の方が安心ですよ。

林委員長 お諮りいたします。

議案第28号については、原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので、議案第28号については原案のとおり可決しました。

林委員長 次に議案第29号「総社市文化芸術会議条例の制定について」事務局から説明願います。

河原文化課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第29号について質問はありませんか。

【質疑・答弁】

下山委員 取り間違いかもしれないんですが、10人以内で組織するという会議なんですけど、謝金は6人で計算してありますが、それでいいんですね？

河原文化課長 先ほど71,000円を報償費から報酬へ組み替えるという一般会計の補正予算を説明しましたが、実はこの当初の段階での数字を出させていただいています。今年度中のことで、1月1日から施行になりますので、今年度はあと残り3ヶ月くらいで1回だけ開催しようと思っていますので、この6掛ける2で12人分ありますので、1回分の開催分に値するというので考えております。

林委員長 議員決議の中でやりましょうということになって、ただ、予算とかの関係で、実現の見通しがたぶん先送りになっているんじゃないかなと思うんですが、今から毎年こうやって美術博物館について審議していくんですか？

河原文化課長 完成までには、大きく分けて何段階かありますが、まずは意見を広く聞こうという会議にしたいと思っています。その次に、建てるとなれば、もっと具体的なものを作らないと前へ進まないと思っていますので、整備計画を立てます。その時にまた別の委員会を立ち上げないといけないと考えています。それが進んでいけば、例えば、造成工事とか土地の取得とか建物建設ということに移っていくと思いますが、今回この文化芸術会議では、その入口の部分ということになるかと思っています。ちょっと先が見えないので、何とも申し上げ難いんですけど、とりあえず入口の部分で、お金がなくてもできる部分をスタートできたかなという風に考えております。

林委員長 なるほど。初めの第一歩ですね。分かりました。

林委員長 お諮りいたします。

議案第29号については、原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので、議案第29号については原案のとおり可決しました。

林委員長 次に議案第30号「総社市体育施設指定管理者の指定について」事務局から説明願います。

柚木生涯学習課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第30号について質問はありませんか。

【質疑・答弁】

米谷委員 北公園の利用者を増やすような感じで、より活発に利用したいとか、そういったような案がプレゼンの中でございましたか？何か良いものがあればと考えてはいるんですけど。

柚木生涯学習課長 市内施設全体での話なので、各個別の、北公園はこれをします、それからアリーナはこれをしますというのは特にはなかったんですが、ピックアップしてみましたら、やはりトップアスリートの招へい。北公園はランニングコースですので、今も夜間照明を点けまして、ランニングコースとかを夜にランニングできるようにしております。ランニング関係のトップアスリートを呼びまして、そこでイベントを開催するというイベントの提案がありました。この12月17日にも、エリック・ワイナイナのイベントをするように企画しておりますので、どこの指定管理候補者も、やっぱりトップアスリートの招へいというのはありました。その中では、有森裕子とか、オリンピックで聞いたことがあるような人の招へいというのは、やはり他社も一番に考えているような雰囲気がありました。それから、スポーツと観光を合わせましたスポーツツーリズムの実現ということの提案がありました。今も、観光ではないんですが、他県から大学の合宿を誘致して、合宿でずっと缶詰ではない

ので、お休みの間、例えば宝福寺に行ったりとか、市内の観光地と掛け合わせて利用客を増やそうという案もありました。ちょっと面白いところでは、選挙に行ったら施設使用料無料の取り組みとか。選挙に行きましたらもらえる投票済証を持って来たら、トレーニングルームを1回無料にしますといった提案がありました。それから、中高年向けのトレーニング機器の増設。今来られている方は、割と体力に自信のある方が来られているので、それよりもちょっとお年を召した方にも来ていただくということで、負荷が低いものとか、あまり筋力を使わないで爽快感が得られるような、そういう機械の増設をやるというのがありました。あと、ちょっと良いなと思ったのが、アリーナなんですけども、総社市も吉備路マラソンをしています、マラソンブームですので、今、東京などではやっているそうなんです、ランニングステーションというのがあります、提案していたのは、アリーナに車を停めて、アリーナ周辺をランニングする時に、荷物預かりとかマシーンとかシャワーを無料提供して、認知度と利用率のアップという提案がありました。やはり一般企業ですので、提案といたら大から小まですごくありまして、今回コナミにお願いして、今度また5年となると10年になりますけども、今までいろいろ要望とかあったことを誠実に改善していってくれていますので、今後5年間で今までのノウハウを生かしたプログラム、それから運営の仕方をしてくれるのではないかと考えています。実際、生涯学習課として思うのは、最初はどこも5年なんですけど、次の5年を取った後、また次の5年がありますので、コナミにしてみたら、この5年をいかに過ごすかによって、次回5年がとれるかどうかが決まりますので、期待しているところではございます。

林委員長 清音ふるさとふれあい広場等の点数は、もう一方のスポーツセンター等と比較して、決して高い点数ではないんですけれども、これはなんで低いのか、低い理由というか。

柚木生涯学習課長 採点については、選定委員会の5人の方をお願いをしました。副市長、総務部長、教育次長、有識者ということで県大の先生、利用者の代表ということでスポーツ推進委員会の会長さん、この5人の方をお願いしております。この採点表にはいろいろ項目がありますが、その時のプレゼンテーションの内容が一番になってきます。もちろん申請書の審査もしますが、やっぱり一般企業と地元のNPOの企画といたら、かなりの差があります。まずは、最近ではプレゼンテーションといえばプロジェクタを使ってやりますが、夢てらすはそこまでいってなくて、やはり見劣りするものであったということです。実はプレゼンに入る前に委員の方々にちょっと話し合いました、1社しかないということは、良いのか悪いのか分からないという部分もありまして、最低点60点で足切りとし、もし満たしていなかった場合には、もう一度呼んでしっかり話を聞こうということにしておりました。ですから、一応60点が目安ということで、これはもう一方のコナミの方も同じですが、その点はクリアしていました。この点数的には、主にはプレゼンテーションのインパクト感が大です。後日、委員会での協議により、今まで運営した実績と、地元のNPO法人を育てるという意味もありまして、お願いしようとするものでございます。

林委員長 お諮りいたします。

議案第30号については、原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので、議案第30号については原案のとおり可決しました。

林委員長 次に、教育長の報告をお願いします。

山中教育長 【教育長報告】

先日、ソニー生命の赤木さんという方が来られました。ボランティアで、キャリア教育の資料を自費で作っておられて、各教育委員会に寄贈されているんです。この中に書いてあるのは、岡山県の人達がほとんどです。総社の人も入っていました。とりあえず学校に配って、図書館にも配って見てもらおうと思っています。見開き2ページで極めて分かりやすい内容で、なかなか面白いです。他市の教育長にもたずねたんですが、皆もらうと言っていました。

それから10月の終わりに、県の教育委員会との連絡会議がありまして、来年度の教育に関する予算の申請とか方針とか、おそらく12月を過ぎたら確定するんじゃないかと思いますが、ざっと説明がありました。その中で、全国学力テストに合わせて、小学3年生、4年生、5年生、中学1年生、2年生のテストを一緒にやるということでした。それで子供達の学力の付き具合とか、どこを理解しているかとかをデータベース化して、フィードバックできるようにフォローしていくということです。端的に言うと、どこが理解できていないのか、どういうことで理解できていないのか。3年生からというところがミソで、だいたい3年生から躓くということなので、3年生、4年生に力を入れたいということでした。今までの学校の一般常識は、3年生、4年生はあまり問題ないので、新任教諭は3年生、4年生に入れようという風潮がありましたが、全くの間違いで、現場を見たときに、3年生、4年生が大切で、そこに優秀な人材を入れないと、5年生、6年生になって問題が表面化してからでは遅いんです。そういうことで、トラブルがありましたMさんも、5年生で転入でした。総社の子は「だれ行き」をやっているのもそれなりにコミュニケーション力が育っているが、転入者はそうでないケースがある。併せて転入者のコミュニケーション能力を高めるプログラムも行わないといけない。詳細はまた課長の方から、資料を見ながら説明させていただきます。

それから、「頑張る学校応援事業」を申請しなかったんですが、常盤小学校が選出されまして、有難く100万円をいただきました。申請しないのは、何度も申し上げていますが、各学校とも頑張っているのに、ここの学校だけ申請するというのはやっぱりよろしくないというのが趣旨で、いただけるものはいただくということを県教委に申し上げたら、常盤小学校が選出されたということです。

もう一つ、通級支援センター「きらり」ですが、これも後で出てきますが、希望者57名ということで、一箇所ではカバーしきれない。最終的には保護者と打合せして何人が通級するかというのが決まるんですが、予想以上に多かったのもので、常盤小と総社小にサテライトを

作らざるを得ないだろうという状況です。当然、教員の配置もいるので、県には1名増員をお願いしていたのを、2名増員でお願いしました。あとでまた資料がありますが、他市からの転入が4割。他市の分も総社市でやっているんだからとお願いしています。

林委員長 ただいまの教育長の報告で何かご質問等ございますか？

【質疑・答弁】

林委員長 「頑張る学校応援事業」ですが、その使い道は学校で自由に使えるんですか？

山中教育長 はい。一切介入していません。

林委員長 倉敷の学校は、これを買いたいと言ったら、それはだめじゃないとかいろんなことを言われたと。総社はそんなこと言っていないということですね？

山中教育長 はい。

林委員長 次に、「報告事項等」に移りますが、「特別支援学級増設要望状況について」事務局から説明をお願いします。

北川学校教育課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑・答弁】

三宅委員 転入ってというのは、実家に帰ってくるとかそんな感じの方が多いんでしょうか？

北川学校教育課長 もちろん実家に帰ってきたと思われる方も中にはいらっしゃいますが、市としては、何年にどこから転入というカウントしかできません。実家の近所に帰ってくるのも実家に帰るというのか、同居のみを実家に帰るというのかでまた考え方も違ってきますが、一律、市外からこちらにお見えになった、ということでございます。

三宅委員 母子家庭の方も、市外から来られる方も、市内から実家がある所に帰られる方のお話も聞くことがあるので、やっぱり親の方も面倒見切れないから一緒には住まないとか言って、近くに住むとかいう風な感じで言うこともあるみたいで、全体としても大きな問題なんだなと思います。ほとんどが、離婚をして実家の近くに帰るといいう方が多いように思います。

林委員長 特別支援学級の在籍児童数が、年々増加しているから、これ以上学級の設置というのは難しいから、通級指導教室で対応しようというような、元々そういった発想だったんですかね？

山中教育長 当初はそうだったようですが、途中で方針が変わった？のかも知れません。インクルージョンが大事なので、インクルージョンを進める為には通級教室は大切です。来年度通級教室「きらり」をスタートするに当たり、玉野から講師をお願いして研修をする予定です。

林委員長 そうやって考えると、同じ学校の中に特別支援学級を作るのとですね、それから通級の指導教室に通うのといった時に、そういった考え方であれば、通級指導教室に通う方がより適応力は増すというようなことにならないといけないですね。

山中教育長 「だれ行き」もそれなんです。そういうのがベースで、コミュニケーションをできるだけ多くして、その中で育っていくという。特別支援学級に入れると楽ですが、なかなかコミュニケーションが上がっていかない。完全にこっちの方に変ってきています。

林委員長 閉ざされた中でやるよりも、もう少し開かれた所でやった方がより良いです。

山中教育長 通級というのはなかなか難しいです。足の問題もありますので。保護者の意に副えるかどうかもありますし。

林委員長 そうですね。通級なら、たぶん川西から来る場合だと、1時間の授業に、着くの1時間、帰って1時間。3時間ぐらい、そこの在籍校を離れるという形になりますよね。

山中教育長 むしろこれだけ多いから、サテライトができるのは不幸中の幸いかもしれません。多いのは常盤、総社、山手なんですけど、山手までサテライトにすると3校になりますから、ちょっと難しいです。

小鍛治委員 通級を目的として北小に転入されるという方はたくさんおられますか？

山中教育長 正確には把握していません。特別支援が手厚いということと、住みやすいし、コンディションがいいから転入される人は多いと思います。それから、学校に対する就学支援も総社は2割なんです。他市は多いところでも1割ぐらいです。住み易いし、暴力問題もないしで、どんどん転入されます。良い事なんですけどね、先手を打ってやっておかないと、この調子で増え後手になるとどうしようもない。このグラフを市長にも見せましてね、県にも送るように言ったんです。できれば、どこから来ているのかも一緒に。とにかく早く県にこういう状態を見せて、有効に使うから人を余分にくださいと申し上げました。

林委員長 例えば、もういっそのこと北小に転校するというのは、もちろん学区がありますからなかなか難しいですが、そっちの方は選択する人がいるかもしれないですね。

小鍛治委員 そういう話を聞いたことがあるので。なぜ実家の近くじゃなくていきなり北小の学区へということがあったので。

山中教育長 北小は教室に余裕があったからです。常盤は、今度プレハブ校舎を増設しますから、校舎が空いているのでそこを仕切ってサテライトとして使います。

林委員長 保護者の方も本当によく勉強されていますよ。そういう情報が当然ながらその中に含まれていると思いますけど。

下山委員 7月の段階で聞いた時に、あまりにも多いなというのは思っていました。総社市は、就学前、4歳、早目に市教委の先生達に対応して下さって、早目に特別支援に関わる子をピックアップして、早く入級してまた通常学級に戻すという形になっていっているのだなというような感じで見ていました。それでこれを見ると、通常学級の在籍者が多くなるということは、それなりに通常学級への支援の先生も配置していただかないと、これも難しくなるなと思うので、それをお願いしたいところです。それから、サテライトを行うに当たって、多い学校の偏りがあるのかなと思って聞いていたら、今、3校あるということが分かったんですけど、そうすると、その3校へ行く先生、それから北小に残ってそういう子供達を受け

る先生となると、またそこで、北小のセンターへの在籍の先生が必要になるのではないかなっていうので、それで教育長さん、たくさん先生達をまた入れていただきたいなと思ってる所です。それで、今年度の北小の実績、どういう風な状態で相談が入ってくるとか、今2人おられる先生が、どこかへ出て指導されたとか、親から相談があったとか、何かそういう実績みたいなものがあつたら、2学期までのことで教えていただけますか？

北川学校教育課長 「きらり」の2人いらっしゃる先生は、1人は北小にいらっしゃって、いろんな図面を作成したり、電話対応をされます。もう1人の方は、積極的に学校園を回っていただきまして、支援が必要と思われる方に対する見取りやアドバイス等を行いました。特に9月になってからは、7月の推計が出てきていますので、専門家チームを組みまして、その方々共々、全員を見取って情報を収集し、その本人と指導者からの情報を聞き取って、相談に応じています。今後につきましては、特別支援学級が適か通級教室が適か、最終確定をしていく必要があります。それに至っても、もう一度見ていただいて、保護者からの情報や相談に応じてながら、早めに確定をしないと、締切が迫っておりますので、その相談に応じていくというような作業が残っていると思います。

下山委員 学校へ出て行っていろいろ情報を集めている。先生達が集っての研修にも使うというセンターだったと思うんですけど、何か研修が行われましたか？

北川学校教育課長 はい。先月の末に、岡山県総合教育センターの方から特別支援教育部の講師に来ていただきました。「通級指導教室とは」ということで、もちろん、この「きらり」の職員、北小の職員、それから市内全域のコーディネーターの先生等々、50人ぐらいに来ていただいたんですが、研修をスタートすることができております。

米谷委員 すみません。左のグラフの読み方をちょっと教えていただきたいんですけど。オレンジは、1年生から6年生までの特別支援学級の在籍者数ですよ？で、ブルーの斜線は、その年度に転入された児童の数？

山中教育長 これは新入生ですね？

北川学校教育課長 はい。そうです。

山中教育長 簡単に言いますと、特別支援の児童は1年から6年まで245人います。これは来年度の1年生だけということです。

林委員長 途中からののは入っていますか？例えば3年生に転校したら。

山中教育長 それは入っています。4年生に。

米谷委員 よく分かりました。

山中教育長 通級の中身はですね、57名のうち33名が新1年生で、残りが24名。それを書いていなくて申し訳ありません。

林委員長 続いて、北川課長お願いします。

北川学校教育課長 【岡山県学力学習状況調査について説明した。】

山中教育長 今我々がしようとしているのは、9月か1月が終わった頃にやろうとしている。

つまり、1学年以内でチェックしてフィードバックするというのをやらないと効果はないわけです。今まで何をやってきたかと言いますと、確かめテストは4年生、5年生でやっていますが、要するに、直前に受験対策でやっていた。それでは駄目だということで、3年生、4年生の分析をするためにこういうプランを作ろうとしている。県に学力テスト分析担当の出島さんという方がいますが、分析の結果どこが弱いのか、教員による差異、学校による差異、市による差異も明確に出ていると思います。そういう風にデータベースを明確にすることで、どこに手を入れたらいいかより分かる。僕らは9月ぐらいにこれをもう一回やって、授業にフィードバックしたいのです。

林委員長 この採点とかいうのは誰がするんですか？

山中教育長 外注して県がやります。どこまでデータをくれるのかよく分かりませんが、僕らは生データが欲しいんです。各市の実績を公表するかもしれない。我々が考えているのは、東京書籍にお願いして、一人一人がどういう風になっているかデータ化することです。池田小学校は少しそれをやっています。この子のどこが伸びたかどうか、一人ずつの個別メニューや、あるいは5科目の点数。そうすることで、子供達の理解が的確になります。

米谷委員 これ、形式的にずっとデータを繋いで返してくれるんですか？そうじゃないと。

山中教育長 目的が何か分からないです。国の学テの10番以内に入るための手段として使うのか。子供達がきちっと理解していること、それから、教員がどこが分からないから上手くいかないのかというのが分かるように的確にしてほしい。「だれ行き」でやっているのと同じです。個々に応じた理解を確認するという。データをもらえればそういうことがマッチングできると思います。これを考えた人ともう一回話をしたいです。

下山委員 学力学習状況調査、ここまでいろいろしていると、これから先、岡山県の学力も上がっていくのではないかなと期待するところなんですけど、総社市は、学校別に経年変化を見て下さっていますが、これからは県で、市別の経年変化も見てもらったり、個人のデータも入ることなので、やはり5年計画くらいで個人のデータをいただかないと、それは後々に生かせないので、そういうことはして欲しいなと思っています。それから、総社市独自のテストっていうのは何年生でしたかね？

北川学校教育課長 5年生です。

下山委員 それは9月ですかね？それなら、5年生は県と市と両方、来年はしますかね？

山中教育長 僕は3年生からやりたいと思っているんですよ。キーポイントはやっぱり3、4だと思いますね。3年生からやっておかないと、躓く子は3年生で躓きますから。

下山委員 3年はポイントですね。

山中教育長 そこがポイントです。それは、県が分析してはっきりしていると思います。出島さんがそういうことを全部分析したんです。明確です。5年生じゃなくて3年生です。

下山委員 5年は難しくなりますけど、分かれるのは3年ぐらいからですね。

山中教育長 3年からやっておかないと、5年で悪くなってからやると、ものすごく力が要

ります。

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

服部教育次長 【弔事連絡を行った。】

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

(なし)

林委員長 それでは、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、12月20日午後3時から開催いたしますので、ご参集願います。

林委員長 この際、来年1月の教育委員会の日程を調整いたしたいと思いますが、事務局から提案願います。

(1月の教育委員会について日程調整)

林委員長 では、1月の教育委員会は、1月24日午後3時から開催いたします。

では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉 会】

閉会 午後3時8分